

## 令和5年度 事業計画（案）

### 1) 基本方針

令和5年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響も薄まり、本来の事業規模から更に発展させることが必要な年度となるが、重点目標、主な事業を踏襲しつつ、新たなチャレンジに向けて動き出す大切な年度となる。

また、拠点の維持管理を含め、改めて魅力ある空間形成が求められる中、福岡おもちゃ美術館との連携協定をはじめ、スペースの有効的な利活用や学生や子育て世代をはじめとした若い世代の創意工夫を促進していく。

組織基盤強化としては、昨年度に引き続き、ふるさと応援寄附金による資金醸成をはじめ、より魅力的な運営をこころがけ、多種多様な交流を促していくことが求められている。新たな商品開発や東明館学園をはじめとする学生や団体等との更なる連携を視野に入れ、価値観を共有できる会員増強にも取り組んでいく。

また、当団体の存在意義を明確に捉えた仕組みづくりとすることを基本方針とする。

### 2) 重点目標

1. 魅力ある空間づくりの形成
2. 自ら稼ぐ組織としての基盤強化
3. 多種多様な人財との交流

### 3) 主な事業

1. まちゼミ・シアターゼミの開催
2. 知（地）の拠点づくり … 夢のあとおしプロジェクトの実施
3. 水よう日のパン屋、土よう日のラボカフェ
4. 組織基盤強化事業 … ふるさと応援寄付基金への啓発ほか
5. 観光（KIYAMA BASICS）、福岡おもちゃ美術館との連携協定
6. 無農薬パン用小麦の委託生産
7. アルコール臭のするイベントの実施